



# 2023年環境報告書

## Environmental Report2023

鈴木建設株式会社

# 会社概要

社名 鈴与建設株式会社

本社所在地 〒424-0825 静岡県静岡市清水区松原町5-17

会社設立 1949年3月

従業員数 296名（2023年9月現在）

## 事業内容

### <建築部門>

物流倉庫、工場・プラント関連、事務所、商業施設・店舗、学校・教育施設、医療・介護・福祉施設、文化・スポーツ施設、宗教施設、集合住宅、戸建住宅

### <土木部門>

道路・舗装・橋梁、河川・海岸・港湾、造成・公園、上下水道、老朽化対策・予防保全、環境・新エネルギー関連事業、防災関連事業

### <その他>

土地建物取引、他

## 鈴与建設株式会社の基本理念

当社は、多様化高質化する社会のニーズに積極的に対応できる体制づくりに努め、企画コンサルティングから設計・施工までを一貫したシステムとして提供できる企業を目指します。

人と地域社会が求める夢を実現するため、当社の経営理念とする「共生（ともいき）」精神を理念として培ってきた技術・知識および品質管理技術を駆使し、顧客と地域社会から高い評価が得られる構築物を提供します。

# 環境方針

当社は、全ての事業活動において環境保護を積極的に行い「環境配慮型社会の形成」を目指しています。

1. 環境関連法規制を順守し、環境汚染を防止するとともに、地球温暖化に伴う様々な危機を保護しライフサイクルレベルで環境保全活動を推進します。
2. 持続可能な資源の利用、低炭素社会の実現、生物多様性の保護に寄与し、気候変動の緩和策及び適応策に取り組めます。
3. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境保全に貢献する。これらを継続的に推進するため、環境マネジメントシステムを有効に活用し、運用します。

# 環境マネジメントシステム

鈴与建設は、国際規格ISO14001

環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

認証機関 インターテック・サーティフィケーション株式会社

認証登録番号 03108-B

認証範囲 土木構造物及び建築構造物の設計施工付帯サービス

初回登録日 2005年11月18日

認証発行日 2021年9月21日

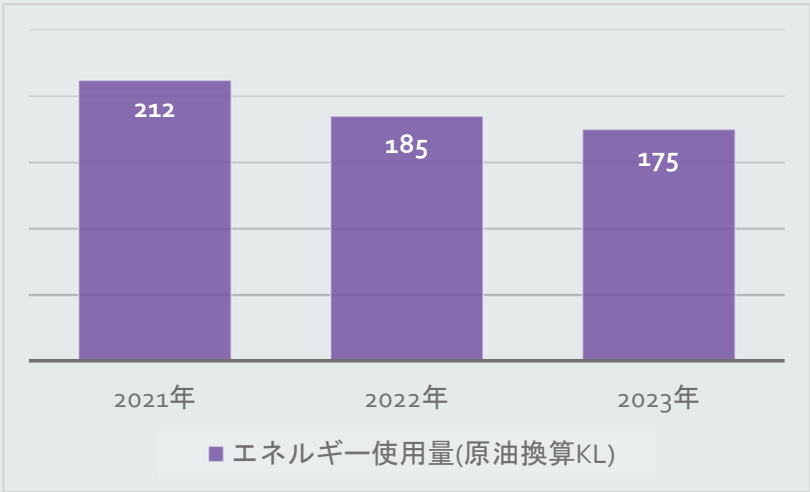
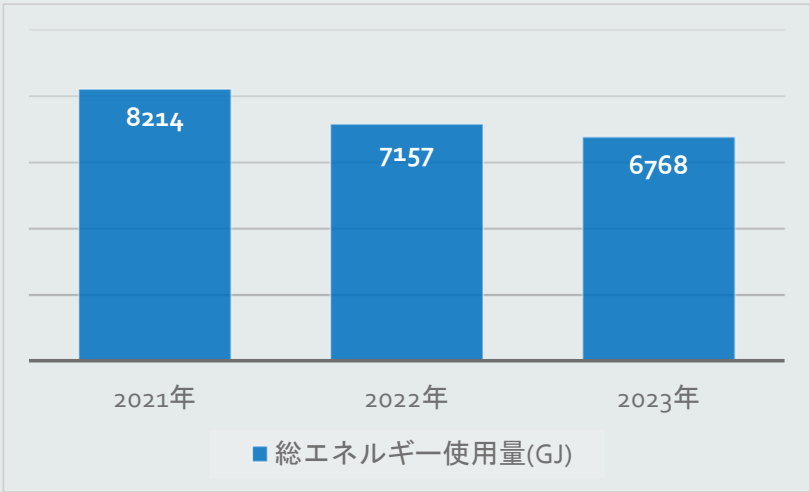


# 環境管理計画と結果

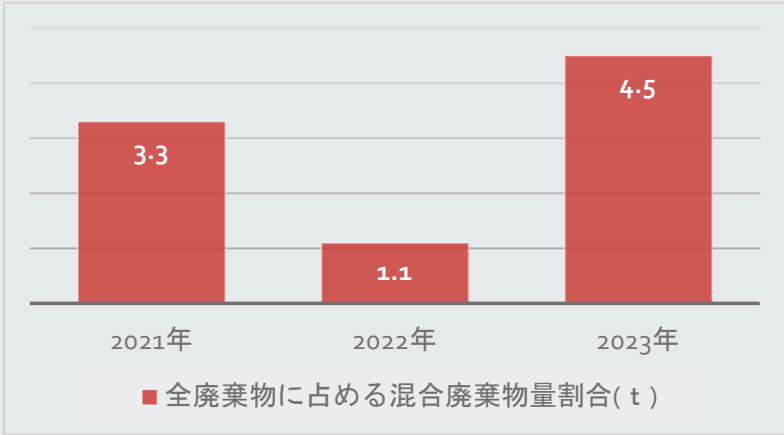
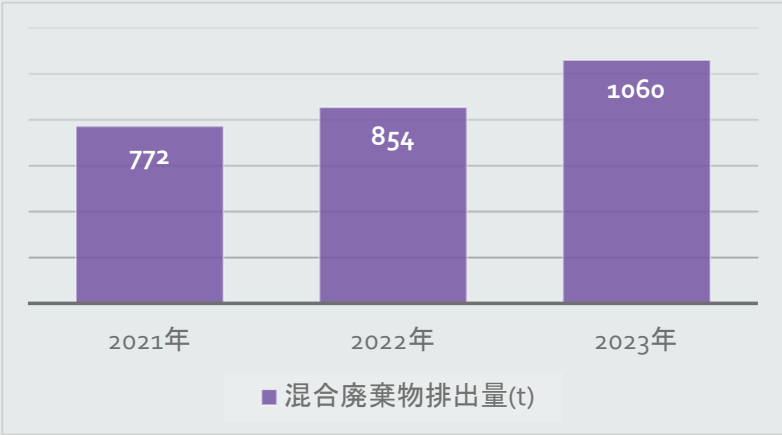
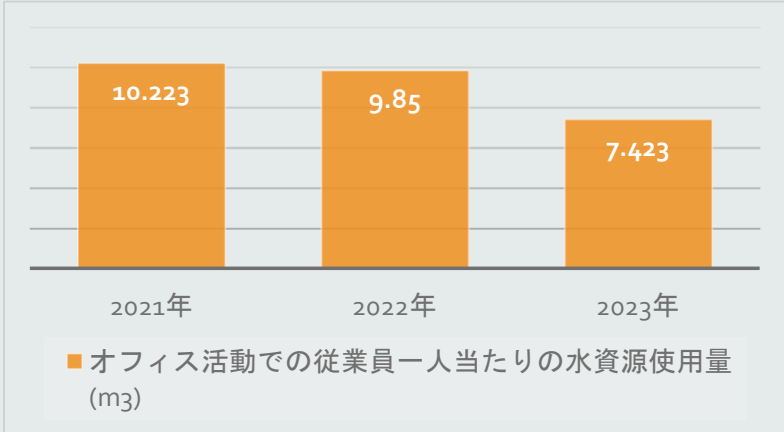
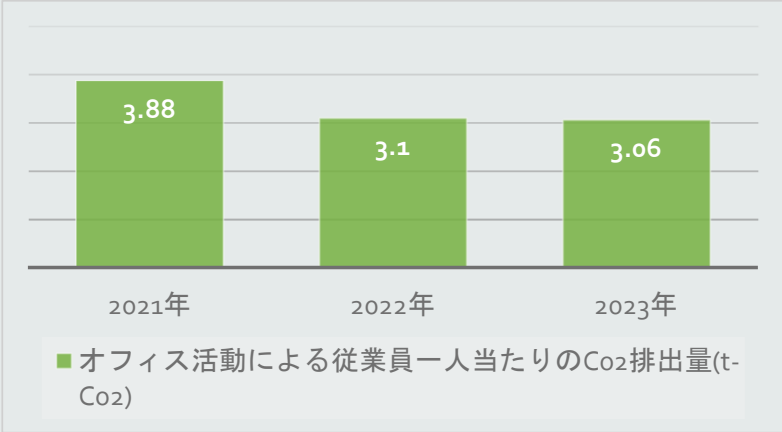
環境管理計画に基づき環境負荷低減活動を展開し2023年度の取り組み結果は下記のとおりです。

環境目的	環境目標	2023年度結果	主な取り組み
オフィス活動における温室効果ガス（CO <sub>2</sub> ）削減	CO <sub>2</sub> 排出量2021年度比6%減 (Co <sub>2</sub> 排出量3.64 t -Co <sub>2</sub> /人)	2021年度比-21% (Co <sub>2</sub> 排出量3.06t-Co <sub>2</sub> /人)	事業所別削減量の数的管理を継続する 電気使用量・化石燃料使用量の節約をする コロナ禍で社用車等のガソリン使用量が少なかったため、CO <sub>2</sub> 排出量が少ない。
水資源投入量の削減	水資源投入量2021年度比1.5%減 (10.07m <sup>3</sup> /人)	2021年度比-27% (7.42m <sup>3</sup> /人)	節水の周知 雨水タンクの設置事業場を推進する コロナ禍で在宅者が多く、水道使用量が少ない。
混合廃棄物排出率の削減	混合廃棄物排出量2021年度比1%減 (混合廃棄物排出率3.0%)	2021年度比+1.5% (混合廃棄物排出率4.5%)	優良産廃処理業者への委託を推進する 事業系一般廃棄物の巡回回収を推進する 分別収集を推進する 電子マニフェストを推進する

# エネルギー投入量の推移

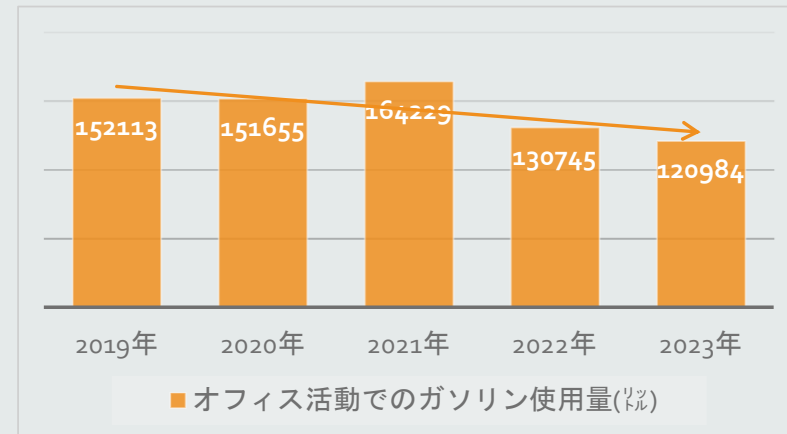
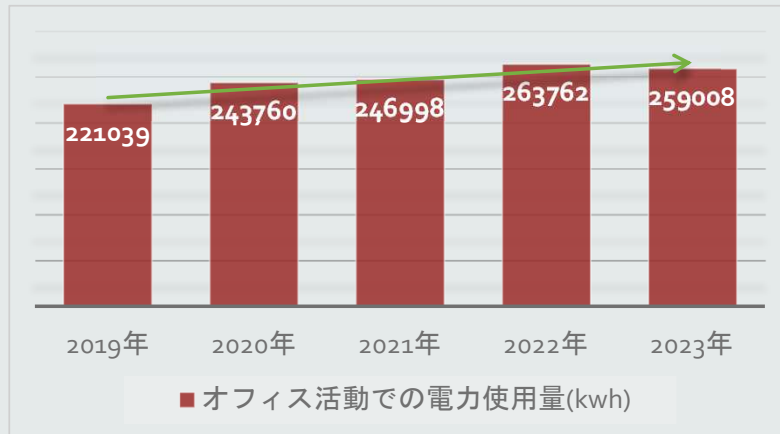


# 環境影響負荷の推移





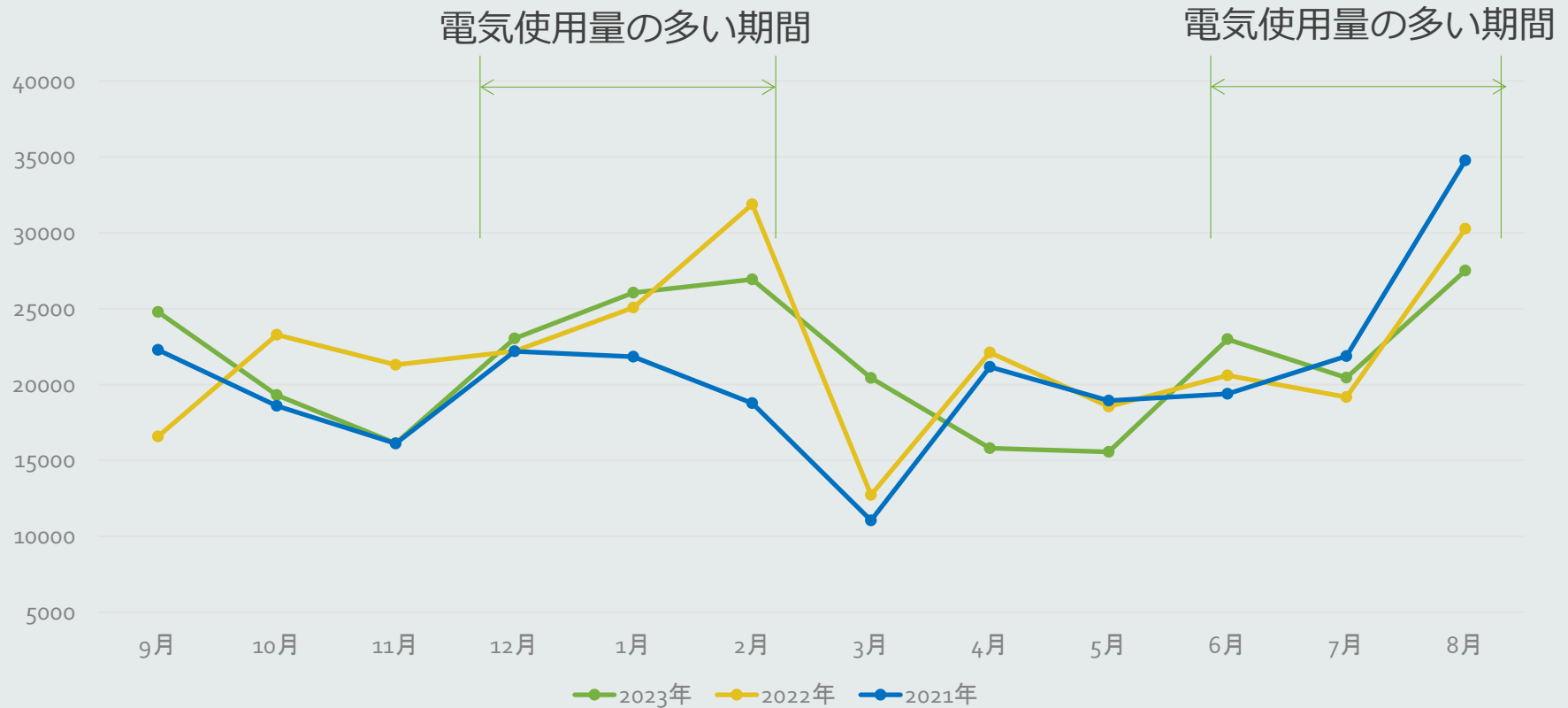
## 環境影響負荷の5年間推移



電気使用量が増加傾向にあります。空調機器の温度設定の見直しやこまめな電源OFFを心がけましょう。

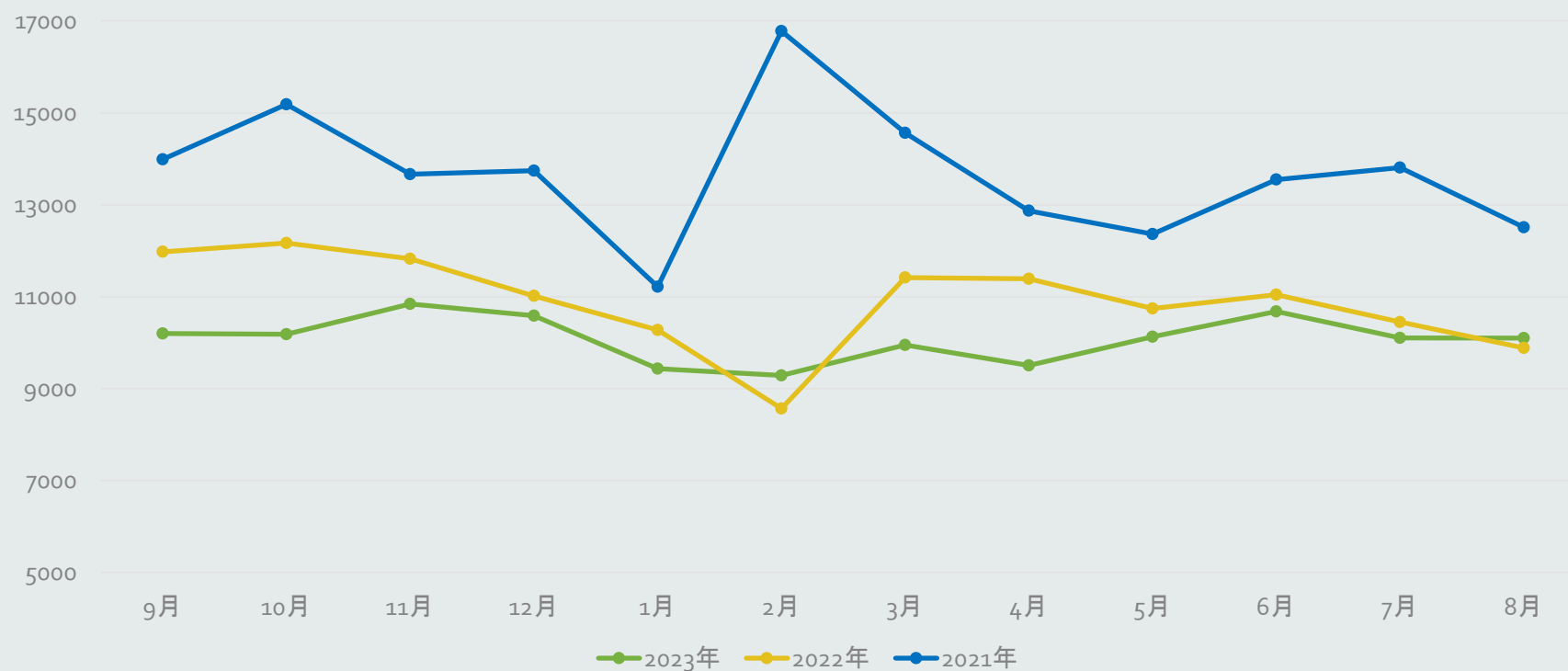
一方、車両によるガソリン使用量は減少傾向にあります。Web会議など継続し車両による移動を減らしましょう。

## 月別電力使用量の3年比較



1 2月～2月、6月～8月の電気使用量が多くなる傾向にあります。この期間の空調機器の温度設定の見直し、こまめな電源OFFを心がけましょう。

## 月別ガソリン使用量の3年比較



ガソリンの使用量は年々減少傾向にあります。 unnecessaryな移動を控え、ECO運転を心がけましょう。

# 環境監査

---

環境マネジメントシステムの運用状況を確認するため、【内部監査】を年1回実施しています。

## 【内部監査】

監査の独立性を確保するために、被監査部署以外の内部監査員からなる監査チームを組織し、環境マネジメントシステムISO14001に基づく監査を実施し継続的な改善と環境意識の向上に努めています。

# 脱炭素社会への取組

鈴与建設株式会社は、2022年12月1日より鈴与商事株式会社が提供する、CO2可視化プラットフォームサービス「EcoNiPass（エコニパス）」を弊社が請け負う建設現場で活用し、CO2排出量の見える化を開始いたしました。



# 社会への貢献

鈴与建設は地域社会の一員として環境美化活動への参加や地域へ貢献する取組を行っています。



(建設現場見学会開催)



(稚魚放流活動に参加)



(静岡市森林アドプト事業)

# 産業廃棄物削減への取り組み

---

鈴与建設は静岡県が推進する「産廃3Rキャンペーン」の趣旨に賛同し、各建設現場において廃棄物の発生抑制・減量化・再利用の促進に積極的に取り組んでいます。



## 社員教育

---

鈴与建設は新入社員に対し当社の環境目標・環境マネジメントシステム・産業廃棄物の適正処理について4月と7月の年2回教育を行っています。

# 各部の環境保全への取り組み

---

## 総務部門

本社及び支店の電気、自動車燃料、コピー用紙の使用量を監視し、省エネルギーによるCO2の排出削減活動を実施しています。また、グリーン調達を導入してエコ活動を推進しています。

## 営業部門

顧客への営業活動でコスト削減、工程短縮、VE等の価値のある情報を提案しています。

## 設計部門

地形、自然環境の改変・産業廃棄物の排出削減・エネルギーの消費抑制に配慮した設計を行っています。

## 原価管理部門

WEBシステムを活用した見積り条件を実施し、環境影響に配慮した工事積算管理を行っています。

## 工事部門

建設機械の使用に伴う騒音、振動、粉塵の防止及び軽減に努め、工事による第三者災害、道路汚濁、水質汚濁、大気汚染の公害防止を図り、建設廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進を強化しています。施工高当たりのCO2排出量を管理し、環境影響に配慮した技術を提供しています。

## 環境安全管理部門

充実した安全衛生管理体制の推進を図り、作業手順書を作成し関係者への周知教育及び確実 実践により災害発生『0』を目指しています。また、コンプライアンス教育の徹底により適正な環境保全の確保に努めています。

## 全社部門

多様化する社会の要求、時代に即した要求に応えるため、高品質・高付加価値の実施に努めています。また、地域市民の一員としてボランティア活動に参加し、環境負荷の低減にも貢献しています。



# 最近の工事实績



(2023年2月竣工 建築工事部)  
清水東高等学校特別教室棟



(2023年5月竣工 建築工事部)  
ロジスクエア松戸



(2022年12月竣工 土木工事部)  
令和4年度 清水港緑地等施設整備工事 (新興津暗渠工)



(2023年2月竣工 土木工事部)  
令和4年度 富士海岸蒲原地区保全工事